

2023 年度第 3 四半期決算説明会 主な質疑応答

1. 航空・宇宙・防衛の現状・見通しは？

- ・ PW1100G-JM 追加検査プログラム費用に関しては、為替影響以外の動きはない。
- ・ 第 3 四半期においては、民間エンジンにおけるスเปアパーツの取扱高が順調に回復する中で、為替影響を除いても利益が伸びている。今年度の 2Q までは大きかったプログラム関連費用の負担が、3Q では落ち着いたことも、利益回復の要因。
- ・ 防衛関連案件の受注は、前年度に比して大きく伸びている。今後数年間は、この規模感での受注が期待できると見ている。

2. その他のセグメントの事業の現状と見通しについて

- ・ 資源エネルギー・環境においては、カーボンソリューション事業におけるサービス事業の取り込みの成果が出ており、売上収益・営業利益ともに見通しを引き上げた。
- ・ 橋梁・水門事業の原価先行算入分は、工事完了時のコスト増分の精算を今年度見通しに織り込んでいたが、一部において今年度中の精算が不透明になったため、見通しを修正した。
- ・ 産業システム・汎用機械については、物流・パーキング等の事業での資機材価格高騰分の価格転嫁が難しい状況となったため、見通しを修正した。

3. 今後のキャッシュフロー確保・バランスシート改善等の対策について

- ・ 「グループ経営方針 2023」における総投資 5,000 億円のうち、検討の進捗状況を踏まえ、500 億円程度について支出時期の見直しを検討している。
- ・ 固定資産売却についても計画を進めており、今年度中に実現する案件もあり得る。

以上